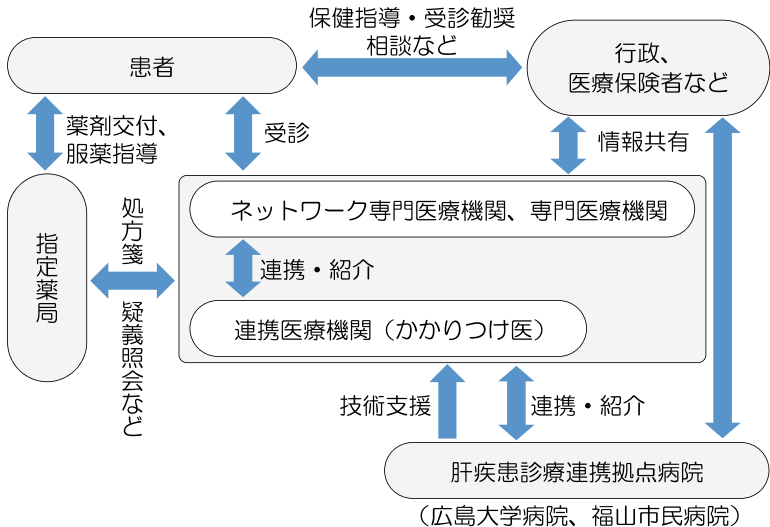


広島県肝疾患診療支援ネットワーク

B型・C型肝炎の重症化を防ぐためには、かかりつけ医と専門医の連携のもと、患者さんが適切な医療を受けることが重要です。

正確な病態の把握や治療方針の決定には、肝炎治療を熟知した専門医の関与が不可欠です。一方で、病態が安定している場合や治療に大きな変化がない場合は、かかりつけ医による診療を中心に行うことが望まれます。

そこで、県内全域で病期に応じた専門医療が受けられる医療体制として「広島県肝疾患診療支援ネットワーク」を整備しています。



肝炎ウイルス検査で陽性と判定されたら、**必ず専門医療機関を受診しましょう**。専門医療機関は、県ホームページまたは別冊の医療機関一覧を参照してください。

県ホームページ⇒

